

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和4年度高松市スポーツ推進審議会
開催日時	令和4年11月30日(水) 18時30分～20時00分
開催場所	高松市役所11階 114会議室
議 題	会長・副会長の選任について 次期高松市スポーツ推進計画について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	今井委員、大西委員、岡委員、笹崎委員、西山委員、藤尾委員、元木委員、山根委員、吉田委員 (欠席2名)
傍 聴 者	0 人    (定員 5 人)
担当課及び 連絡先	スポーツ振興課 839-2626

### 会議経過及び会議結果

#### 【会議の経過】

- 1 各委員の紹介
- 2 創造都市推進局 中川局長の挨拶後、高松市スポーツ推進審議会条例第5条第1項の規定に基づき、委員の互選により、会長には大西委員、副会長には、米村委員及び藤尾委員が選ばれた。  
また、会長代理の順位について、米村副会長を第1位とすることを会長が決定した。
- 3 事務局から、会議成立の報告後、会議の公開について委員会に諮り、審議した結果、公開とすることを決定した。
- 4 議題  
事務局から、「次期高松市スポーツ推進計画」について、説明した。
- 5 主な意見、質疑等については次のとおり  
○次期高松市スポーツ推進計画について

#### 【議長】

スケジュールに関して、確認したい。本日、話し合われた内容を踏まえ、3月上旬の審議会でアンケートをまとめる。その後、5月に調査を行うということは、成人の週1回スポーツ実施率70%を達成するための取り組みは、今から5か月しかないということでしょうか。

#### 【事務局】

5月に実施するアンケートは、次期計画を策定する上での資料として活用する。現在の計画は、令和5年度末が計画期間であるため、期間満了まで実施率70%達成に向けて施策を講じる。

#### 【A委員】

議長と同じ質問になるが、5月に実施するアンケートで実施率の確認をするものと思っていた。次期計画を策定するためにアンケートを

会議経過及び会議結果

実施するというのでよいか。

【事務局】

お見込みのとおり。現計画の実施率等の検証は、時期は未定だが、令和6年度に行う。

【議長】

アンケートは現計画を確認する最終のものではなく、現場の方としては、令和5年度末に向けて努力する、ということで構わないか。

【事務局】

そのとおり。

【議長】

他にスケジュールに関して、意見はないか。なければ、当アンケートの内容について意見を伺いたい。

【B委員】

何点か伺いたい。

- 1 前回と同じ内容にした方が、成果が出るのではないか。
- 2 年齢を問う設問に関して、70才以上の方の運動の機会は増えている。選択肢を「70才以上」一括りにせず、70歳、80歳、90歳と小分けに区分した方が良いのではないか。
- 3 特定の設問では、単一選択か、複数選択可か記載がなく、分かりづらい。
- 4 似たような設問があるが、あえて内容を変える必要はあるのか。
- 5 スポーツクラブの加入状況を問う設問の選択肢に、「総合型地域スポーツクラブ」を入れてみてはどうか。
- 6 TASS(タス)、TASVO(タスポ)の認知度を問う設問があるが、いずれも認知度は低いと思う。説明を入れてみてはどうか。また、障がい者のスポーツ実施率を把握する必要はあるが、このアンケートでは正確な数字は取れないと思う。障がい福祉課が実施するアンケートに入れるなど御検討・御相談いただきたい。
- 7 日本パラスポーツ協会では「障がい者スポーツ」という表現をしなくなっている。「パラスポーツ」という表現に置き換わっているので、「パラスポーツ」に統一することも検討すべき事項の一つだと思う。
- 8 障がい者のスポーツを実施しやすい環境づくりに関する質問では、高齢者を含め、高松の公共交通の利便性がネックになっている。公共交通機関など移動手段を問う項目を検討してはどうか。また、障がい者に対する理解も低く、啓発の観点を問う項目を追加してはどうか。
- 9 高松市のスポーツ活動推進のための重点課題を問う質問の選択肢として「DX(ディーエックス)」の表現が一般化していないように思う。意味が分かるような表現方法に改めてみてはどうか。

【事務局】

御指摘の事項については、検討し修正を行う。過去の調査結果の推移を確認する考え方の中で、内容及び項目を大きく変えていない。また、設問に関しては、国が実施した調査項目を参考にしているが、語句の意味が伝わりにくいと思われる箇所は、注釈を入れるなど、工夫することを検討する。

【C委員】

障がいの有無を確認する設問の選択肢で、「1. 障がいがある(障害者手帳を持っている)」とあるが、障害者手帳を持っていない方でも体が不自由な方がいる。その方が、その他の項目に含まれてしまうので統計資料として如何。表現方法を検討する必要があるのではないか。

## 会議経過及び会議結果

### 【B委員】

高松市パラスポーツ協会さんが、すごく力を入れて啓発を行ってくださっている。このアンケートでは、啓発がどこまで進んでいるかを確認するものとしても非常に重要である。

### 【議長】

前回のアンケートをとる時に、スポーツが「競技」としか考えていないというところで、ジョギングや散歩など軽いものも含めてスポーツである、という説明を追加した。TASSやTASVOについても意味合いということで、同様にしても良いかもしれない。逆に、ぶっつけ本番で聞いてみるのも一つの方法かもしれない。これは、また審議するということとしたい。

### 【D委員】

別表に記載しているスポーツの一覧に、「軽いスポーツ」の例示があるが、ジョギング・ランニングは人によって、真剣に取り組まれている方もいる。「軽いスポーツ」という表現如何。

### 【議長】

地区体育協会の認知度を問う設問があるが、表現方法はこれで良いか。

### 【E委員】

話がずれるかもしれないが、自治会に入っていないことで体育協会自体を知らない人が随分と増えていると実感している。自治会に加入している人には、校区から情報を流せるが、それ以外の方々には市報でしか情報が入らない。早くここに手をつけないといけない状況で、この設問の回答結果からどうなのかということを考えないといけない。

### 【議長】

スポーツ推進委員の認知度を問う設問があるが、表現方法はこれで良いか。

### 【F委員】

E委員が仰るとおり、自治会に加入しない人が多く、スポーツ関係のイベントを開催する時に自治会を通して人を集めることができない。また、広く資料をお送りすることもできない。そこで、小学校に、自治会関係なく、チラシを生徒に全部持って帰ってもらったところ、参加者がすごく増えた。自治会を通してでなければ、人が集まらない現状では、スポーツ推進委員を知っているかどうかだけは、調べたら良いと思う。

### 【議長】

大変残念なことだが、令和2年12月から令和3年1月にかけて実施した中間アンケートにおいて、推進計画を知っていますか、という問に対して、計画を知っている、と回答した人が8.2%しかない、という衝撃的な状況だった。前回まで審議会に出席されていた方と話をして、これではいけないということだった。なんとかしてもらわなければいけないというのも大きな課題の一つである。他に、何か意見はあるか。

### 【G委員】

高松市のスポーツ活動推進のため、今後10年間の重点課題と取り組むべき項目を問う設問の選択肢にある「16. スポーツにおける地方創生、まちづくり」は、どういった内容を想定しているのか。

### 【事務局】

国の第3期スポーツ基本計画にある総合的かつ計画的に取り組む12の施策の一つとして追加している。3月の審議会には、具体的な施策をイメージ化した上でお示ししたい。

## 会議経過及び会議結果

### 【議長】

アンケートについて、部分的に見てきたが、他に意見はあるか。

### 【A委員】

すぐに返答できない内容だと思うが、アンケートを紙ベースからインターネットでもできるようにする、回答方法を増やす、という考え方如何。

### 【事務局】

インターネットの回答は、やろうと思えば可能である。回答率が、上がるのか下がるのか、また、紙と二重に回答してしまうなどの課題がある。高松市としても、QRコードによる回答を進めているということもあることから、検討する。

### 【A委員】

紙の回答も当然必要だが、インターネットの方が回答しやすいというのも時代の情勢で、検討しないといけないと思う。また、アンケートは全て回答すると所要時間は何分くらいかかるか、を考えたときに少しでも回答率を上げようと思うのであれば、ボリュームが少しある感じがする。もう少し分かりやすい内容に変えるというのも検討する必要があるのではないか。

### 【F委員】

回答率30%程度で参考になるのか。

### 【事務局】

アンケートの数字としては、抽出する年齢層など情報部門と相談しながら、確認するが、だいたいこのくらいの数字になる。

### 【F委員】

回答率の高い年齢層はあるのか。

### 【事務局】

50代以降の方の回答率が高い。

### 【H委員】

たぶん10代、20代は、紙ベースで分厚いものが届いたら最後まで読まず、途中で疲れて、全部書けていないから出さないでおこう、という心情になる人も多いのではないかと思う。10代、20代は、インターネットの方が回答しやすいのではないかと思う。

### 【事務局】

検討する。

### 【A委員】

前回のアンケートをベースにしていると説明があったが、これは比較がしやすいからということによいか。

### 【事務局】

お見込みのとおり。

### 【A委員】

高松市のスポーツ活動推進のため、今後10年間の重点課題と取り組むべき項目を問う設問で3つ選択させる意図は何か。また、選択肢で「8. 学校運動部活動の充実」を削除している理由は。

### 【事務局】

まず、部活動の項目の削除から説明するが、教員の働き方改革の中で、休日部活動については、将来的には平日も含め、地域に移行していくことが、スポーツ庁の有識者会議でも話をされている。学校の部活動について、今後どうなるのかということを経理局担当者とお話をしている中で、言葉として適当ではないと判断したものである。

### 【A委員】

将来のことを考えると形が変わる可能性はあるが、今現在は、通常の部活動が行われており、削除する必要はないのでは。

## 会議経過及び会議結果

### 【事務局】

検討する。

### 【議長】

ここまでの内容について、今後、何か意見があれば直接スポーツ振興課まで連絡していただいて構わない。できるだけ、12月の前半までをお願いしたい。頂いた御意見については、スポーツ振興課と私の方で協議をして、3月の審議会にお示ししたい。それで、よろしいか。

### 【各委員】

(異議なし)

### 【議長】

それでは、アンケートについては3月の審議会でも審議をお願いしたい。折角の機会なので、アンケート以外で何か意見はないか。

### 【E委員】

スポーツ大会をコロナ禍の中でも開催してきた。頭が下がる思いだが、各校区のスポーツ推進委員が地域との意思疎通がよくできており、コロナの感染者数が増える時期を外すなど、参加してくれる人のために、なんとか「やれる」ために頑張っていた。スポーツ推進委員の連携によるところであり、地域での位置付けは本当に高いと思う。スポーツ推進委員からは、不在となっている校区の解消をなんとかすべき、という意見が出ている。それには問題点があると思うが、解消に向けて何とかしたい。また、ある地区では、元々その地区に住んでいる方の自治会加入率は約2割であり、8割は転入してきた方などである。校区から発信する情報が限られた方にしか届いていない。体育に限らず、市として枠組みを考えていかないと、地域の崩壊につながる。

### 【事務局】

スポーツ推進委員の不在状況は、1名、又は2名とも不在の校区は約20である。どんなイベントをするにしても複数の校区に来てもらうなどして、なんとか開催できている。市としても、スポーツ推進委員が不在となっている校区の体育協会会長に推薦のお願いをしており、こういった取り組みは引き続き行う。スポーツ推進委員連絡協議会の会長とも話はしており、単位制が厳しいなど、いろいろな意見があることも承知している。地域をよく知っている方に連絡調整をお願いできることが市としても理想であり、計画においては、実施率の向上につながることを認識している。今後においては、公募制や単位制の見直しなどを検討し、なんとかスポーツ推進委員の確保に努めたい。

### 【F委員】

公募制や単位制の見直しの話があったが、地域の中で活動している人からスポーツ推進委員になって頂いて、市と地域に関連を持ち、連絡調整することが基本と思う。例えば、体育協会の中から出せないのであれば、コミュニティの中から、体育協会の役員ではないけれども、連絡調整をやってみたいと思っている人はいるかもしれない。単位制に関しては、原則8割の行事に出席すれば良い。地域の行事に参加する場合や病気になった場合は、単位取得の対象になり、必要単位の取得はそれほど難しいものではない。

### 【議長】

スポーツ推進委員に関しては、様々な関連団体がある。一番大事なことは、実施率70%に少しでも到達することをやっていこうというのが大前提である。計画期間は1年と数か月あるので、満了まで粘り強くやろうかと思う。このような問題については解決していかないといけない。この状況は数年続いている。どこかが立ち上がって、誰か

## 会議経過及び会議結果

がやっていないといけないことなので、可能であれば、審議会ではなく、委員会的なものを任せていただいて、話し合いをするというようなことを考えており、一任して頂いて構わないか。（※委員から異議はなかった。）

それでは、スポーツ振興課とも話をしながら責任を持って進めたい。御協力の程、お願いしたい。他にないか。

### 【B委員】

障がい者の方がスポーツ推進の中に位置付けられるということが一番大事にしたいと思っている。令和4年5月25日に障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法が施行されています。障がい者の方にとって、文字が読めない、ちょっとした色の違いで見えづらいといった方もいる。是非、推進計画の中に障がい者の方も障がいのない方と同等に、同じタイミングで情報を得られるよう情報発信について、ホームページを作成するなどの工夫を盛り込んでいただきたい。

### 6 大西会長（議長）閉会宣言

全ての議事が終了したことを確認し、大西会長（議長）が閉会を宣言し、閉会した。